

## 1 学校教育目標

○思いやる      ○自ら学ぶ      ○やり通す

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○生徒の学ぶ意欲を向上し、自らを鍛え学力を伸ばすことのできる学校 ○生徒の社会性を育成し、人と協力しながら課題を解決する力を身に付けることができる学校 ○地域・保護者との信頼関係を構築し、力を合わせて生徒を育成する学校
○児童・生徒像	○思いやりの心と規範意識をもち社会に貢献する生徒。 ○向上心をもって自ら学び、目標をもって最後までやりぬく生徒。 ○心身ともに健やかで夢や希望を実現する自立した生徒。
○教師像	○生徒の個性を理解し、よさを伸ばそうと深い愛情と情熱をもって指導にあたる教師 ○謙虚に自己研鑽に励み、強い責任感をもって生徒・保護者の期待に応える教師 ○組織の一員として連帯感をもちチームで教育活動に取り組む教師

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- 学校について    [よさ] 閑静で落ち着いた地域環境と整った施設に恵まれ、充実した教育活動が展開されている。  
                         [課題] 学校の魅力づくりと学校からの情報発信（PR）の充実
- 生徒について    [よさ] 明るく裏表が少なく人懐こい。諸行事等に意欲的に取り組む。  
                         [課題] 自分と社会のつながりに気づかず高い理想や夢に向かって努力しようとする気持ちや態度が十分に育っていない。
- 教師について    [よさ] 生徒の立場に立ち、その成長のためによく努力する教員が多い。  
                         [課題] 経験の浅い若い教員が多いので、生徒指導力や学習指導力等の一層の向上が求められている。
- 保護者・地域について    [よさ] PTA 役員・地域ともに協力的である。「地域の学校」との思い入れや期待がさまざまな場面で感じられる。  
                         [課題] コロナ禍等の影響もあるが、保護者の学校支援（PTA 活動、授業参観・保護者会の出席者数など）が減少している。

### 【前年度の成果と課題】

- 〈成果〉○落ち着いた学校生活と生徒・教員との信頼関係の構築  
                         ○道徳の授業を通しての豊かな心の育成
- 〈課題〉○さらなる基礎学力の定着と向上  
                         ○キャリア教育・キャリアカウンセリングによる学習意欲向上と家庭学習の習慣化  
                         ○不登校生徒等への支援・教育相談の充実

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	体験活動を通しての豊かな人間性や社会性の育成	○	○	○	○	○
3						
4						

## 5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題				達成度 ◎○△●	
基礎学力の定着と向上		年度末学力定着確認テスト 正答率60% 令和7年度区学力調査 通過率60%							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続・ 新規	授業力向上	全教員	年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職による授業観察(年2回)</li> <li>・小中連携による授業研究(対面年5回)</li> <li>・授業見学月間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・生徒アンケート</li> <li>・年度末学力定着確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的回答80%以上</li> <li>・年度末学力定着確認テストの正答率60%以上</li> </ul>			
2 継続	ICT・AIドリルの有効活用	全教員	年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5教科担当で活用方法の検討会の実施</li> <li>・数学の朝補習及び授業の導入時に活用</li> <li>・長期休業中の課題として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート</li> <li>・授業観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的回答80%以上</li> <li>・80%以上の活用率</li> </ul>			

3 継続・新規	朝補習 朝学習 (+放課後補習) 朝読書	全生徒	週4回 (定期テスト前4回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝 20 分間学力補充</li> <li>AI ドリルを活用した朝学習</li> <li>定期テスト前に放課後質問教室を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習コンテスト</li> <li>年度末学力定着確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習コンテスト正答率 70%以上</li> <li>年度末学力定着確認テストの正答率 60%以上</li> </ul>			
4 継続	家庭学習の習慣化	全生徒	年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年で家庭学習ノートの有効活用について指導</li> <li>授業の振り返りを基にできなかった内容の克服、重要ポイントの復習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート提出率</li> <li>生徒アンケート</li> <li>学力定着確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート提出率 90%以上</li> <li>生徒アンケート 10%向上</li> <li>年度末学力定着確認テストの正答率 60%以上</li> </ul>			
5 継続	サマースクール	対象・希望生徒	夏季休業中6日間以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着</li> <li>学習の習慣化</li> <li>AI ドリルの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前テスト</li> <li>事後テスト</li> </ul>	事後テスト正答率 10%向上			
6 継続	年度末学力確認・補充	1・2年全生徒 国・数・英	2月初旬～3月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月上旬学力定着確認テストを実施</li> <li>学力定着が不十分なところを授業・朝・放課後等で補充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力定着確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末学力定着確認テストの正答率 60%以上</li> </ul>			

<b>重点的な取組事項－2</b>		体験活動を通しての豊かな人間性や社会性の育成			
<b>A</b>	<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
	自尊感情・自己肯定感の向上	生徒のアンケートの肯定的回答 70%以上			
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自尊感情を高める指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のアンケートの肯定的回答70%以上</li> <li>生徒主体の活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中の生徒・児童交流の実施(中学校体験、部活動交流等)</li> <li>学習コンテストや各大会上位入賞者等の表彰や掲示</li> <li>生徒会による主体的な活動や学年リーダーによる学年行事の企画・運営</li> </ul>			
コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> <li>区調査「授業の時間に、いろいろな考え方を発表しあうことは好きだ。」60%以上</li> <li>「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。」60%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教科で言語活動を取り入れた工夫ある授業の実施</li> <li>生徒集会の充実(発表場面の設定)</li> <li>プレゼンテーション面接の実施</li> </ul>			
特別な支援が必要な生徒及び不登校生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>SC・SSW・関係機関と連携した不登校状況の改善</li> <li>不登校生徒数昨年度比80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>QU及び教育相談研修会実施</li> <li>週一回支援委員会開催</li> <li>家庭との連携強化</li> </ul>			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他(学校教育活動全般について)